

菊池市次世代育成支援行動計画地域協議会が設置されました

菊池市次世代育成支援行動計画地域協議会委員

委員名	所属
中村 妙子	民生児童委員協議会連合会
東 憲幸 (会長)	民生児童委員協議会連合会
塚本美津代	保育園園長会
横田 壽美	幼稚園
吉田 崇	児童育成クラブ
中山 勇誠	PTA 連絡協議会
橘 美奈子 (副会長)	障害児親の会
内村八千代	母子会
上村 俊博	企業連絡協議会
宮川健一郎	青少年育成市民会議
高山千鶴子	男女共同参画審議会
中尾 明美	母子保健推進員
青木 輝彦	社会福祉協議会
北村榮一郎	教育委員会
堀野 誠也	家庭児童相談員

地域協議会は、次世代育成支援対策の推進に必要となる事項について協議するために設置され、今年3月に策定された行動計画に盛り込んだ施策の実施状況を把握点検し、必要な協議を行い、対策を検討します。

11月18日に15人の委員への委嘱状交付と第1回目の協議が行われました。

協議では、放課後児童育成クラブの入所支援についての質問や、軽度発達障害児および保護者の支援の必要性、ニートと呼ばれる就学・就労への活動を行っていない人への対策の必要性など、活発な議論が交わされました。

委員の皆さんは、右表のとおりです。(敬称略)

問い合わせ先 福祉課子育て支援係

人権同和教育シリーズ⑧ 自らの解放を目指して

人は分らないものに対して怯える習性があります。私は同和教育がいかなるものか分からず、得地の知らない不安の中で人からふるさとを尋ねられるのが怖くなり、何回かデタラメを言っていました。

しかし、それにも限界があり、差別のいわれを知りたいという焦りから、先輩や先生たちの話を耳を傾け始めました。多くの方の話に耳を傾ける中で、「同和教育はなんでもないこと。このことが解決しない限り日本の民主主義はない。これは政治的に作られたものであり、行政の責務であり、国民的課題である。この解決は教育に始まり教育に終わる人間教育であり、文化の問題である」と熱く語られる先生たちに戸惑うばかりでした。また、同和教育審議会答申、同和教育特別措置法、狭山事件(予断と偏見による差別事件)など何回も繰り返し話を聞く中で差別の仕組みや本質が分かり、得地の知らない不安からの解放感、何事にも代え難い喜びに変わりました。人との語らいを通して、差別が見えない無知ほど恐ろしいものはないと実感したのです。そして自分が臆病者で視野の狭い差別者であることに気づかされたのです。それから、これまで社会の現実に関係を装い、背を向けてきた自分が恥ずかしくなりました。また、社会矛盾や人のありようも気がかりになってきました。

私の近所の人で「これまで苦労だけは誰にも負けないようにしてきた」と口癖のように話される先輩が意外な話をされました。「商売の行き先で、いきなり『あなたは、だまされて結婚されたのですか』と言われる、その時の悔しさは忘れることが出来ない。誰と結婚しようとする手じゃないかと叫びたかったけど、何も言えなかった」とこれまでの悔しさを話されたのです。それにしても「騙されて結婚されたのですか」と平気で話されるというところは、差別を差別とも気づかない無神経な差別者だとも、潜在的差別意識が根強いことが想像されます。

私には、これまで様々な差別事象に関する話し合いから見えてきたことがあります。差別者は勝手な理屈を並べ道理に合わない曖昧なことをくり返し、挙げ句の果てにはつじつまが合わなくなり、言い訳をくり返し、その追いつめられた姿は自己中心的で人として美しい姿ではありません。すなわち、差別は心の歪み、因習、しがらみから抜け出せない思い込み、決めつけにとりつかれた偏狭の思想そのものだと思えます。「悪しき習慣は心の錆である」「固定観念に縛られた人は精神の囚人である」と言われ、また、「化石のような人だ」と話した青年もいました。これまで差別の本質が分からないまま偏見だけが語り継がれ、差別意識だけが社会に広がり、噂が噂を呼び疑う人もいまませんでした。そして長い年月の中で差別が当たり前のようになりました。

以前、郡市同和教育研究会の行政部会に参加したとき、提案者が報告の中で「同和教育は暗いイメージがあり、面倒なことには巻き込まれたくない」とい込み、近くて遠いものだった」と自らの差別性に気づかされたことを話されました。私は、行政としての責務を果たそうとされているその姿に感心しました。また、「これまで

の問題解決に向けた33年にわたる時限立法が切れ、一般対策に移行されましたが、問題が解決したわけではなく、行政の取り組みの終わりを意味するものでもなく、差別が続く限り人権教育・啓発が必要だ」と言われました。

近年、同和教育の取り組み・社会情勢の変化により、部落差別が公然と語られることは少なくなりましたが、負のイメージで語られているものも少なくはありません。「差別はしてない。理解している」と言う人の中に、「そらばってん」と言う人もよく見受けられます。私は、中途半端な理解は差別の予備軍に思えてなりません。

こうした思いから、私の人生観は大きく変わり、差別のおかしさに気づくことができました。そして、社会の不合理さや矛盾を改めていくために行政も市民も一丸となって、差別のない明るいまちづくりが大切であると感じているところです。

「心の病」について理解を深めることを目的に、菊池地域精神保健福祉の集いを、次のとおり開催します。

どなたでも参加可能です。お気軽にご参加ください。

講演 「うつ病の理解と予防について」

講師 菊池有働病院院長 有働信昭 先生

とき 2月8日(水) 午後1時30分～午後3時30分

ところ 菊池市福祉会館

問い合わせ先 菊池保健所 ☎(25)4155

「菊池地域精神保健福祉の集い」を開催します

「心の病」について理解を深めることを目的に、菊池地域精神保健福祉の集いを、次のとおり開催します。

どなたでも参加可能です。お気軽にご参加ください。

講演 「うつ病の理解と予防について」

講師 菊池有働病院院長 有働信昭 先生

とき 2月8日(水) 午後1時30分～午後3時30分

ところ 菊池市福祉会館

問い合わせ先 菊池保健所 ☎(25)4155

新春を飾る太鼓の競演 熊本暮らし人祭り 「第1回 泗水太鼓の共鳴祭」

旧泗水町の若者たちが中心となり、和太鼓打ちで有名な「今福ゆづ」氏をメイン奏者に迎えて、自分たちの力だけで企画運営を行った「無料コンサート」を開催します。

若い世代が元気を出して、市の活性化につながるために、みんなで考えた企画の第一弾です。魂のこもった太鼓をぜひ見に来てください。

とき 1月6日(金) 午後6時30分 開場 午後7時 開演

ところ 菊池市泗水ホール

出演 今福ゆづ、永翔太鼓 他

問い合わせ先・主催 いくくに青年会泗水支部 ☎090(7204)1748

平成18年(平成17年度)成人式を開催します

菊池市では、今年20歳を迎える皆さんの新しい門出を祝し、成人式を開催します。

平成17年度に新しく成人を迎える人は、昭和60年4月2日から、昭和61年4月1日まで生まれた皆さんです。

とき 1月8日(日) 午前10時 受付 午前10時30分 開式

ところ 菊池市文化会館

問い合わせ先 社会教育課



「新菊池市誕生記念」第1回菊池市民スポレク祭を開催します

新菊池市誕生を記念して、市民の親睦と融和を図るとともに、市民総スポーツ運動の一環として、勝敗にとらわれないスポーツレクリエーション祭を開催します。また、豪華商品の当たる抽選会も競技終了後、実施します。

とき 1月29日(日) 午前9時 開会

ところ 菊池市総合体育館(メインアリーナ・サブアリーナ)

種目

①ドッジビー (ドッジボールのルールで、安全なやわらかいフリスビーを投げ合います) 参加資格 (小学生以上)

②アジャタ (運動会の玉入れ競技のような、100個玉を入れる時間を競います。みんなで息を合わせましょう) 参加資格 (中学生以上)

③ふらーばーボールバレー (ミニバレーのようなルールで、変形したボールを使用します。どっちに跳ねるかな…) 参加資格 (高校生以上)

申し込み方法 専用の申込書に必要事項を記入し、各総合支所教育課窓口・社会体育課まで申し込んでください。

参加費 無料 問い合わせ先 社会体育課

「51,864人」あなたもこの中の1人です

これは、平成17年12月6日付けで、熊本県が発表した国勢調査の菊池市における人口の速報値です。

詳細な数値は、今後、菊池市ホームページなどで公表します。

人口・世帯などに関する国勢調査の結果は、今後の日本の未来をつくる大切なデータとなります。ご協力ありがとうございました。

問い合わせ先 情報企画課